

首症状から上半身に広がった成人アトピーの経過 (20 代成人)

症例 ID：001-20-EK | 記録日：2015 年 9 月 26 日

1. 診断・治療前経過

19 歳の時にアトピー症状が本格化しました。首が赤くなり、かゆみが止まらなくなったため皮膚科を受診し、ステロイド軟膏とビタミン剤が処方されました。

外用後はいったん赤みが引きましたが、赤くなるたびに薬を塗ることを繰り返すうちに病巣が拡大し、上半身全体が赤くなるまで広がりました。その後、ステロイドを使わない医師を探して病院を転々とする時期が約 1 年続きました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	首症状に対してステロイド軟膏を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	19 歳頃から断続的に使用しました。
中止時期	2009 年に松本医院で治療を始める際に中止しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
19 歳頃	来院前	首の赤みとかゆみでステロイド軟膏を使い始めました。
その後	来院前	赤くなるたびに薬を塗り、症状は上半身全体へ広がりました。
2009 年	治療開始	漢方の煎じ薬を始め、ステロイド外用を中止しました。
治療開始後	初期	顔がかなり赤くなり、外出を避けたい状態になりました。夏でもジャージを着て過ごすなど、見た目への配慮が必要でした。
開始後約 3 か月	経過後半	アトピー症状は少し落ち着いてきました。一方で喘息が長引く時期もありました。

4. ピーク時期

症状が強かった時期は、治療開始後に顔の赤みが強く、外出を避けたい状態となった時期です。

5. 困りごと

- ステロイド外用で一時的に落ち着いても、赤みが出るたびに繰り返し使用する生活になっていました。
- 上半身全体に赤みが広がり、病院を転々とする不安定な時期がありました。
- 治療開始後は顔の赤みが強く、外出や服装に配慮する必要がありました。

6. 経過のまとめ

2009 年に治療を開始してステロイド外用を中止した後、顔の赤みが強く外出しにくい時期を経ましたが、約 3 か月後にはアトピー症状が少し落ち着いてきました。その後、大きな症状が出なくなったため、継続的な通院はなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。